

地域住民等の意見と行動計画への反映

京丹後市

No.	意見	反映箇所等
1	大目標、活動目標のところが漠然としている。ジオパークとしてであって山陰海岸独自ではない。	山陰海岸ジオパーク大会でのアンケート及びパブリックコメントの結果、「この地球で、ここ山陰海岸の地で、私たちと未来の世代が暮らし続けていくために」と修正しました。
2	大目標が目標になっていない。文言の大目標の続きが大事で、続きがないと姿が見えてこない。そこに向けて戦略がある。かなり上手くいったとしても、このままでは、検証ができない。	また、目標は敢えて漠然としたものとし、具体的な施策については行動計画や別途策定するマーケティング戦略等により定めていきます。
3	子や孫の世代で山陰海岸ジオパークはどんな姿にしたいかという視点で設定するとよい。	
4	<p>一部の間人が継続してやっっていく戦略にしては非常に多い。NPO や民間に委譲していくことも検討しては。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>【補足】絶対できるものばかり書いていてはいけない、逆立ちしてもできないことは書いてはいけない、頑張ればできるものを書きたいと思っています。</p> </div>	<p>既に実施中の事業も含んでいますし、4年間での実施を目指します。民間等委譲についてはGMの意向も踏まえ検討していきます。</p>
5	地元住民にとっても山陰海岸をまわるツアーがあるなら参加したい。	Ⅲ-(3)
6	誰がやるのかを書いた方がよい。	行動計画の各分野に追記しました。
7	海洋ゴミは川上対策や広域的な対策が必要。	I-(6)
8	生涯学習や高齢者大学も含んだ教育に。	Ⅱ-(1)、Ⅴ-(3)
9	空港、港湾も活用してはどうか。	Ⅲ-(1)
10	一次産業の活性化を。	Ⅲ-(5)
11	YouTuber が入って情報発信する。	Ⅳ-(1)
12	市役所も担当でない職員はジオパークのことを知らないなので研修を。	既に一部の自治体で実施しました。今後も機会を捉えて実施していきます。

地域住民等の意見と行動計画への反映

豊岡市

No.	意見	反映箇所等
1	散策マップのデータが古いので情報のアップデートを。	Ⅳ-(3)
2	このような意見交換会の広報に工夫を。	Ⅳ-(3)
3	産業振興は数値化しやすいので、何か数値目標があった方が良い。	別途策定する「マーケティング戦略」で設定予定です。
4	ロゴを付ける前と後とでどれくらい差があるかを目標に。	Ⅲ-(5)
5	SDG s 自体にいろいろな要素が入っているので、整理できていない。	行動計画前段に記載し、全分野に関連する位置づけとしました。
6	夜のエンターテイメント、昼のアクティビティが不足している。富裕層等向けの旅行商品を。	Ⅲ-(3)
7	フットパスとジオパークを結びつける。	Ⅲ-(3)
8	スキーもスノボもジオの活動	Ⅲ-(3)
9	芸術で何かできないか。郷土芸能とはつながりやすい。永楽館も使えるのでは。	Ⅲ-(1)
10	豊岡観光イノベーションの研修にジオパークのことも入れては。	Ⅲ-(4)

地域住民等の意見と行動計画への反映

岩美町

No.	意見	反映箇所等
1	教育旅行は、産業振興・ツーリズムの課題でないのか。	Ⅲ-(3)
2	広域ツーリズム推進になぜジオパークなのかが抜けている。	Ⅲ-(3)
3	うまく若い女性にスポットを当てて盛り上がる。	Ⅳ-(3)
4	カラフルでない。地味。伝わらない。	Ⅳ-(3)
5	拠点施設の役割を書いておく。	Ⅴ-(4)
6	百貨店でなく、専門店を目指す。海岸線は同じような景色が続くが、ここのカヤックはこれが特徴というように尖らせる。	Ⅲ-(2)
7	エリア内ネットワークも重要	Ⅴ-(1)
8	構成員とのコラボレーションは難易度が高いが期待したい。	Ⅴ-(2)
9	全体を紹介する動画がないので早急につくって欲しい。	Ⅳ-(1)
10	代表的な写真が取り込める紹介教材がほしい。	Ⅳ-(1) (3)
11	年間スケジュールを早く知らせて欲しい。	Ⅳ-(1)
12	保護保全事業はマンスリー地域をまわる、全体でやっている感を増やす	Ⅰ-(6)
13	韓国の方は全然G P知らなかった。SNSで情報を流して欲しいといわれた。	Ⅲ-(4)
14	共通テキストで案内できるようにして欲しい	Ⅱ-(2)
15	散策モデルコースどう使うのかわからない、点検が必要。	Ⅳ-(2)
16	ガイドは可能な限り有償へ。	Ⅲ-(2)
17	ロングトレイルとフットパスとどう合わせるのか。	Ⅲ-(3)
18	麒麟獅子、日本遺産、農業遺産との連携を。	Ⅲ-(3)
19	山のほうが弱い。知らないことは連携できるチャンス。	Ⅲ-(3)
20	ガイドの役割を明確に。この多様性の中で、うちはここを引き受けているという説明。	Ⅲ-(2)
21	どういうガイドを求めているか調査できたら最高。	参考にさせていただきます。
22	協議会がガイドを紹介してほしい。相談窓口が一本化されていないので観光客も迷う。	Ⅳ-(2)、Ⅴ-(4)
23	HPのガイドの紹介。マークだけでがわかりにくい。	Ⅳ-(1)
24	コーディネーターガイドの使い方も見直したほうがよい。	Ⅲ-(2)
25	Y o u T u b eの動画を山陰海岸で集める。	Ⅳ-(1)

地域住民等の意見と行動計画への反映

鳥取市

No.	意見	反映箇所等
1	県外に PR が必要。付加価値をつけてお金をもっと使ってもらおう。	Ⅲ、Ⅳ
2	有料ガイドをどうやって作るか。日本遺産のガイドもボランティアで育成しようとしている。有料ガイドの見本をジオパークで作ってほしい。	Ⅲ-(2)
3	ガイドと教育関連で収入事業となるシステムをつくってほしい。	Ⅲ-(2)
4	エージェントに低い金額なら合わないとは断る風土をつくってほしい。	参考にさせていただきます。
5	10年間ツーリズムのことは棚上げしてきた。GM の手腕を構成員はみたい。	Ⅵ-(4)
6	10あるものを小出しにしてリピーターにつなげる。	参考にさせていただきます。
7	ガイドにメリットがあるような顔つなぎのシステムを。安心するガイドの見える化。特に女性を対象にしたもの。	Ⅳ-(1)、Ⅲ-(2)
8	エリア内をコーディネーターがつなぐ広域なバスツアーがほしい。	Ⅲ-(3)

地域住民等の意見と行動計画への反映

香美町

No.	意見	反映箇所等
1	運営組織のメンバーを明示していけば活動もわかりやすくなるのでは。	IV-(1)
2	教育・保護保全に関して分からないので窓口を教えてください。	
3	この計画は分かりやすいが、これをいかに多くの住民に広げていくか。	V-(3)
4	産業振興・お金儲けの部分が目に見えていないのでそこが重要。	III-(6)
5	行動計画を小学校向けに作ってはどうか。	別途検討とします。
6	観光協会とのコラボが少ない。DMOもある。	V-(2)
7	教育分野でジオのアピールが少ない	II
8	地元の人には美しいと思っていない。価値がわかっていない。	III-(3)
9	誰に相談したら良いかわからない。ジオを紹介する人材データベースを構築しては。	V-(2)
10	オンラインジオガイド養成講座といったものがないだろうか。	費用対効果と受講見込みを勘案して保留とします。

地域住民等の意見と行動計画への反映

新温泉町

No.	意見	反映箇所等
1	地元の子どもたちにふるさとの良いところを知ってもらおう。	Ⅱ-(1)
2	お金が地域に落ちる、人に落ちる仕組みが必要。	Ⅲ
3	ジオパークを他の事業とからめて世界にPRできる仕組みが必要。	Ⅵ-(1)
4	ガイド養成講座が新人もベテランも一緒。学術的な事も学びたい。	Ⅲ-(2)
5	事業を独立させるような養成講座もあれば良い。	Ⅲ-(2)
6	情報の共有をシステム化して欲しい。	Ⅳ-(1)
7	鳥取砂丘が修学旅行で頑張っている。頑張っているところの情報共有を。	Ⅳ-(4)
8	幹事会の構成メンバーは誰？資料では分からない。	Ⅳ-(1)
9	他地域の良い事例を広げたら良い。	Ⅳ-(4)
10	日本遺産、農業遺産などとの協力の事も。	Ⅲ-(3)
11	ジオガイドをひとくくりにしないで欲しい。質で分けて欲しい。この事ならあの人を紹介できるように。	Ⅲ-(2)
12	市町のいいものを整理して、他の市町と共有して欲しい。	Ⅳ-(4)
13	エージェン트가言うには、日本の自然の中での体験、グルメ、知的がトレンド。雪の活用を考えては。	Ⅲ-(3)

地域住民等の意見と行動計画への反映

構成団体

No.	意見	反映箇所等
1	農業漁業者、ホテル、プロモーションする人と一緒に旅行商品を作る	Ⅲ-(1)
2	温泉と自然と食をうまく活用	Ⅲ-(3)
3	淡路島と違って山陰海岸ジオパークにはJRがあるのは強み。JRチケットと一緒に旅行商品を売る	Ⅲ-(1)
4	海に面した話が多いが山もある。山の関係者は人ごとになっている。	Ⅲ-(3)
5	温暖化を止める対策を。自然環境について言うべき。	Ⅵ-(1)、Ⅰ-(6)
6	旅のコーディネーターを捕まえることが大切。	Ⅲ-(1)
7	海外の目線と我々の目線は違う。見方によっては光る。ただ英訳するだけではダメ。	Ⅲ-(4)
8	情報発信で視覚に訴えるようなものを。	Ⅳ-(3)
9	夏をイメージした話が多いが、夏は日帰り客が多いので落ちるお金が少ない。冬をメインにした話が増えれば良い。	Ⅲ-(3)
10	ガイドの顔が目につかない。海外ではカウンターにガイドのオプションが並んでいる。ガイドに対するバックアップもあれば。	Ⅲ-(2)
11	朝6時から7時くらい漁協で競りをしている。競りも観光に使える。	Ⅲ-(3)
12	横の繋がりがまだ。城崎から出石はあるが、神鍋・竹野は行かない。	Ⅲ-(3)
13	芸術もひとつのターゲット	Ⅲ-(1)
14	オリンピックボートも滞在する。川を活かすこともご一考を。	Ⅲ-(3)

各部会での意見と行動計画への反映

学術部会

No.	意見	反映
1	用語的に難しいものが多い。	難しい用語については、用語解説で対応する。
2	戦略の意味が少し違っているように感じる。	ご指摘について、各分野内の「戦略」という言葉を削除し、行動計画の前段に「今期の戦略」として何に重点を置いて取り組むのかを明示した。
3	「山陰海岸」や「ジオパーク」と省略せず「山陰海岸ジオパーク」と記載すべき。	ご指摘のとおり、省略せずに記載した。
4	六角形のネットワーク活動 SDGs の扱いについて、SDGs は戦略プランすべてに関連するものであるので、1 コマに入れるべきではない。	ご指摘のとおり、SDGs は6つの分野すべてに関連することであり、行動計画の前段に記載することで、全分野に関連する位置づけとした。
5	ジオパークでやる意義がわかるようなものを用意した方が良い。	全分野に関連する基本的な姿勢なので、基本計画の「1 目的」を強調していく。
6	マネージャーの立ち位置、役割が不明確。役割を明確にし、組織図外に記載しておかなければ JGN の審査にも問題が出てくる。	組織図は削除し、規定類整備のうえ明確化する。

各部会での意見と行動計画への反映

教育部会

No.	意見	反映
1	P12 2-(3)防災の問題は学校教育以外の防災に関わる機関との連携もこれからは必要では。	Ⅱ-(5)「社会教育、地域活動」を追加した。
2	P12 「地球科学の知見を踏まえたガイドブック等」の次に副読本を	Ⅱ-(2)-②に追加した。
3	これまでジオパークは3つの目的、保護保全、教育研究、産業振興で指導してきたが、4～6が追加された六角形になっている。子どもたちに示すときにどうすればよいか。	これまでどおり3つの目的で指導していただいてよい。
4	1～3は目的（何を）、4～6は手段（どうやって）では。事務局で考え方の整理を。	4～6は意識的に取り組む意図で入れている。

各部会での意見と行動計画への反映

ツーリズム部会

No.	意見	反映
1	SDGs 関連で、学習指導要領にSDGs が入り、修学旅行でもSDGs をからめた修学旅行が注目されている。また、産業振興の面でSDGs をからめて有名企業とコラボするのはどうだろうか。	Ⅱ-(2)-① (SDGs と関連づけた教育プログラムの推進)、Ⅱ-(6) (教育旅行モデル分析調査結果の活用)、Ⅲ-(1) (パートナーシップの強化によるジオツーリズムの推進)、(3)-(3) (山陰海岸ジオパークの特徴を活かした多様なジオツーリズムの展開)、Ⅴ-(2) (構成員等とのコラボレーション) 等の中で対応していく。
2	推進協にロングライドに入ってもらって、相互プロモーションした結果、参加が倍増した。個別のイベントの連携だと3府県連携もしやすい。	Ⅲ-(3)-⑤ 広域ジオパークの特徴を活かしたツーリズムの推進として引き続き取り組んでいく。
3	経済効果の項目については、数字(年間で何%上がった等)が見えるようにした方が良い。 協議会で出来るのは、仕組み作り・仕掛け作りだと思うので、数字は設定した方が良い。	Ⅲ-(6) (効果の見える化) で対応。なお、数字については別途策定する「マーケティング戦略」で設定予定。
4	主体がどこなのかがはっきりしていないので、自分のところではこれをしないといけないという責任感を感じることが出来ない。	主語(誰が)を各分野の行動計画に明示した。自分事として理解し、考え、できる取り組みを増やしていただきたい。(「はじめに」にも記載)
5	ロゴマークの高付加価値化は、ロゴマークが発表されて時間が経っているので難しいと感じる。 商品を高付加価値化するには認定にプロが必要になると考える。	地域産業部会で協議し、別途策定する「マーケティング戦略」で検討していく。

各部会での意見と行動計画への反映

保護保全部会

No.	意見	反映
1	大目標と山陰海岸ジオパークのテーマとの関係は？体系図には出てこない。	テーマはエリアの特徴、目標は文字通りジオパーク活動行う目的と目標を表わすもの。 体系図については大目標やテーマ、戦略などの関連性が複雑であり逆にわかりづらいため削除した。 大目標、テーマ等については基本計画の前段で簡潔に表記した。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力アッププランの位置付けは？現在は保護保全に入れてもらっているが、それにとどまらない取組。 ・魅力アッププランは行動計画に体系づけられていくべき。直接行動計画に付随するプランになるのがよい。 ・6つの戦略があるが、すべてが地域ごとに取り組むべき課題ではないと思う。魅力アッププランはいくつかの戦略にまたがるものとして考えていただいた方がよい。 ・体系図に入れておくのがよい。保護保全計画は分野ごと、魅力アッププランは地域ごとの計画。 	体系図削除 行動計画、関連する分野それぞれに記載した。(Ⅰ-(5)-②、Ⅱ-(1)-④、Ⅲ-(5)-③)
3	魅力アッププランの説明をどこかに入れておかないと、計画を見た人にはわからない。	魅力アッププランの概要については用語解説の中で行う。
4	地域貢献の目的で企業が実施する保全活動はどこに入れるか。パートナーシップ？あまり具体的に書くと結果を求められるが。	Ⅰ-(3)-②(企業とのパートナーシップによる保護・保全の推進)の中で対応していく。
5	戦略3の主な課題の「経済効果」をより具体的に	Ⅲ主な課題「指標となる経済効果の測定(支援事業者の個別事業の分析・評価を含む)」に修正した。
6	戦略3の主な成果の「ジオサイトを舞台としたイベントの実施」の例示を	各関係団体のイベントが多く多岐にわたるため削除した。

7	SDGs との関わりが抽象的。横断的にどれにも関係するものだが。各ゴールの割り振りは。体系図上でも工夫が要る。	体系図削除。SDGs の関わりについては行動計画の前段で記載した。
8	10 ページのゴミの写真は差し替える？ 12 ページ上の写真は許可取っている？子どもの顔が見える。19 ページも。	差し替えした。
9	保護保全管理計画をどこかに入れては。保護保全の構成は管理計画の内容をそのまま記載している。最初に管理計画に基づいている旨を明記しては。	保護保全管理計画は分野別の計画として、I-2 に位置づけを記載している。

各部会での意見と行動計画への反映

地域産業部会

No.	意見	反映
1	カタカナが多くて分かりにくい。	用語解説で対応する。
2	ジェネラルマネージャーの役割が不明確。また組織図も分かりにくい。権限と役割を明確に。	組織図は削除し、規定類整備のうえ明確化する。
3	本計画の多言語化も検討すべき。	遅くとも次のGGN審査までに英訳予定
4	関係人口の概念を取り入れ、ジオパークを使って外の人との関係を繋いでいくなど、計画的に山陰海岸ジオパークの特色を出すべき。	Ⅲ-(1) (パートナーシップの強化によるジオツーリズムの推進)、Ⅲ-(3) (山陰海岸ジオパークの特徴を活かした多様なジオツーリズムの展開) の中で対応していく。
5	PDCA サイクルを回すとあるが、課題がすべて定性的で定量化できていない、また課題の要因が不明確であるため、PDCA サイクルを回すことは出来ない。まずは、課題の要因やバックグラウンドと定量化を。	Ⅲ-(6) (効果の見える化) の中で、課題の要因を検証、分析をし、PDCA サイクルのしくみづくりを検討する。
6	お客さんにクリエイターになってもらう共創ビジネスモデル。この考え方を取り入れるべき。	Ⅲ-(1)-③パートナーシップの強化の中で、共創ビジネスモデルを取り入れる。
7	計画の中身が物作りに拘りすぎている。人間をどう支援していくかを考えるべき。	Ⅲ-(1) (パートナーシップの強化によるジオツーリズムの推進)、Ⅲ-(2) (ガイドとアクティビティの深化)、Ⅲ-(6) (効果の見える化) 及びⅤ-(3) (活動の裾野を広げる取組の強化) の中で対応していく。
8	行政が大きなイベントをするより地域がする個別のイベントを支援する方が効果が高い。これまでのイベントの効果検証をすべき。	Ⅴ-(3) (活動の裾野を広げる取組の強化) の中で、効果検証を踏まえ対応していく。
9	注力すべき事業を見極め、重点的に事業を進めて行くべき。	ご指摘のとおり、重点的に事業を絞って実施する。
10	地域住民が交流の担い手。学び直しの機会があると良い。	Ⅴ-(3) 活動の裾野を広げる取組の強化の中で対応していく。

各部会での意見と行動計画への反映

ガイド部会

No.	意見	反映
1	行動計画内でガイドが何をするのが見えてこない。	Ⅲ-(1)(2)(3)(4)の中で対応していく。また、別途策定する「マーケティング戦略」に盛り込んでいきたい。
2	ガイドをアクティビティの深化とあるが具体的に何をするか分からない。	Ⅲ-(2)(ガイドとアクティビティの深化)の中で、本業にして稼げるガイド等の人材育成のしくみを構築したい。
3	その他部会の構成員が分からないなど、協議会内への内向きの情報発信が不十分である。	Ⅳ-(1)-③(協議会ホームページの全面的な改修)の中で運営組織メンバー紹介などしていく。
4	行動計画内の事業のすべてに事務局の記載があるが本当に出来るのか。出来ることのみに記載すべきでないか。また、ロングトレイルの推進とあるが本当に出来るのか。	結果としてできないこともあるかもしれないが、挑戦していくことも必要だと考える。ロングトレイルについても、コースの切り売りや、散策コースと合わせた素材のひとつとして推進していく。
5	協議会以外の事業も行動計画内に記載すべき。	協議会が関与していない事業については記載しない方針。各年度の総会資料の中で記載する。
6	組織図に事務局長とジェネラルマネージャーが並列に記載されているが、どちらがトップか分からない。	組織図は削除し、規定類整備のうえ明確化する。
7	部会間の連携に期待したい。	ご指摘については、運営委員会での協議や合同部会の開催で対応していく。

パブリックコメントでの意見と行動計画への反映

No.	意見	反映
1	<p>全体的なこと：基本計画というのは基本構想を受けて作成するものなので、基本構想の部分が必要なのではないかと思います。ジオパークの目標やテーマは、その基本構想に相当するものではないでしょうか。基本構想は変えてはいけない部分、基本計画はそれを成り立たせるための計画で、数年で更新するものです。一方、行動計画（実施計画）はもっと具体的で常に更新していくものだというのが一般的だと思います。その意味では行動計画の内容はもう少し具体的なほうが良いと思います。行動計画の見直しが4年ごとというのは長すぎると思います。これを行動計画とするのであれば、その下に毎年見直す年次計画を設定することが必要でしょう。</p>	<p>2008年に基本構想を策定し、2010年のGGN認定後に10年間計画として現在の基本計画があります。そしてGGN認定の度に(4年毎)行動計画を改訂する形をとっています。年次計画については毎年の総会資料がそれに当たります。</p>
2	<p>大目標：「〇〇するために～」というのはやはり目標になっていません。上の目的をどのように達成するのが目標にならないといけないと思います。もしかしたらこの目標は不要なのかなとも思います。</p>	<p>「ために～」の後は、各自が自分で考えて実施してもらいたい意味を込めています。</p>
3	<p>テーマ：10年たって、もう少し分かりやすい言葉に変えてはいかがでしょうか。「わかりにくい」「堅い」という声も時々聞かれます。たとえば「日本海のやさしさと厳しさを感じるジオパーク」みたいな柔らかい言葉にしてはいかがでしょうか。</p>	<p>ご指摘はもっともと思う反面、このエリアの特徴を的確に表わしているテーマと感じています。</p>
4	<p>全体的な考え方：ユネスコ世界ジオパークなので、これまでのものから一步進んで、たとえばユネスコ世界ジオパークのTop 10 Focus Areaやジオパークのガイドラインをもっと意識した内容にしたほうが良いと思います。全体に物足りなさを感じます。</p>	<p>取り組んでいく事業の羅列にしか見えないかもしれませんが、トップ10トピックについては、行動計画の中に盛り込んでいます。ガイドラインについても意識的に取り組んでまいります。</p>
5	<p>運営体制：専門部会をそれぞれの分野の人たちで構成するのではなく、むしろ目的別に構成することも考えたほうが良いです。例えば教育部会に教員だけが参加するのではなく大学研究者やガイドなども参画する。協議会の役割がよくわかりません。</p>	<p>前段については参考にさせていただきます。 後段については、現在改修中のホームページの中で対応し、運営体制の見える化を進めていきます。</p>

	この計画とは別ですが、協議会メンバー、各種委員会のメンバー、事務局員の氏名と所属をHP などできちんと明示してほしい。誰がなにをやっているのかがわかりません。	
6	今期の戦略：【取り組みを強化する分野は産業振興・ツーリズム】というのは本当にそれでいいでしょうか？ 外部から客観的にみ限り、山陰海岸ジオパークの活動は他のジオパークと比べて「経済活動」に特化していて、教育活動や保護活動、他のジオパークとの連携活動が弱い印象を受けます。	地域座談会や構成員との意見交換会、また首長会議においても経済効果不足との意見が大勢です。この分野を強化するのが今期の戦略です。
7	保護・保全：保護・保全のなかに、自然景観と文物的景観の保護保全も入れたほうが良いです。文化的景観の中には麒麟獅子や北前船寄港地の名残などの無形文化遺産や歴史的景観も含まれます。	自然景観・文化的景観については行動計画の記載に包括して含まれております。無形文化遺産などの具体的な保護保全活動については保護保全管理計画（2018 改訂）に基づいて行っていきます。
8	教育・調査研究：学校教育に偏っている傾向が見られます。公民館や博物館と連携した生涯教育も大切な視点です。	公民館や博物館と連携した生涯教育につきましては、記載の講師派遣事業やネットワーク活動、調査研究成果の地域課題解決の活用の中で取り組みを推進していこうと考えております。
9	産業振興・ツーリズム：広域のジオパークの場合、ジオパーク内を移動するだけでも一つのツアーになります。ジオパーク内での人の移動や交流を推進するツーリズムの開発を入れてもいいかもしれません。そのことによってジオパーク内の他地域を知り、全体を一体として捉えることにつながると思います。	ご指摘の観点を持って、Ⅲ-(3)-①「地元住民にとってのジオツアーの推進」に取り組んでいきます。
10	情報収集・発信：ジオパーク内でのイベント情報をもう少し充実すると良いです。	ホームページリメイク後は情報の充実に努めます。

11	<p>住民参画：ここで住民参画を頭出ししていますが、それ以前のすべての項目に住民参画は関係しています。それぞれの活動の中に住民参画を組み込んだ方が素直に受け取れます。拠点施設の強化が書かれていますが、拠点施設とは何の拠点なのか、よくわかりません。活動の拠点と考えれば、事務局員が配属されている施設が欲しいです。また、拠点施設独自の活動をもっと進める必要があります。</p>	<p>住民参画について 住民参画に限らず全ての分野が横断的に関連するものであり、これを行動計画前段に「相互に補完」と特出して説明しています。</p> <p>拠点施設について それぞれのエリアにおける情報の拠点と考えます。独自の活動についてはご指摘のとおりと考え、参考にさせていただきます。</p>
12	<p>ネットワーク活動・運営体制：ジオパークの事務局には、地質や地理だけではなく経済・経営、生物・生態、考古・歴史学の専門家も参画できるようにしてほしいです。</p>	<p>ご指摘のとおりと考え、各部会への参画や、各種の取組みにおいて各分野の専門家を巻き込むなど検討したいと思います。</p>